



2020.06.25現在



JR九州バス株式会社



新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みについて

弊社では、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、様々な対策に取り組んでいます。
お客さまに安心してご乗車いただくために、下記のような取組みを実施しております。

【貸切・高速バス版】

車両への対策	①	バスの換気 1 バス全車に、自動で内気循環・外気導入に切り替える換気制御装置があり、走行中も清潔な空気を保ちます。外気導入モードはおよそ5分で車内の空気を入れ替えます。	
	②	バスの換気 2 弊社のバスは、窓を開けることができます。又、必要に応じて窓を開けて運行することが可能ですが、走行中は安全にご配慮の上、ご利用ください。 ※高速バスや車両の構造上、一部窓が開かない箇所がございます。	
	③	車内除菌対応 1 空調設備による換気以外に「プラスマクラスターイオン」で車内の空気をきれいに維持する除菌イオン発生装置を搭載した車両の導入を進めております。 ※全車両には対応していません。	
	④	車内除菌対応 2 乗車口付近にアルコール消毒液を設置しております。	
	⑤	車内除菌対応 3 運行途中や折り返し地点などで、乗務員により手すりや座席など適宜車内消毒を行っています。	
	⑥	車内除菌対応 4 帰庫後は、専属の清掃員により入念な清掃と除菌を行っています。	
乗務員への対策	⑦	乗務員対策 1 発熱、せきなどの症状がある場合は自宅待機をさせます。出勤時の検温を実施し点呼時のチェック表による健康管理の徹底を行っています。倦怠感や微熱などの症状がある場合は、乗務不可、勤務途中に体調不良となった場合は、速やかに乗務員交代を行います。	
	⑧	乗務員対策 2 手荷物の受け渡し等におけるマスクの着用をいたします。 ※高速バス→トランク内のお荷物はお客さまご自身での積み下ろしをお願いしております。	

乗務員への対策	乗務員対策 3	
	⑨ 運転手・ガイドは業務中は基本、マスク・手袋を着用させていただきます。又、ガイド案内は飛沫感染防止の為、着席でご案内させていただくことがあります。	
乗務員への対策	乗務員対策 4	
	⑩ 手洗い、うがい、こまめな消毒、咳エチケットを励行するとともに、朝夕ともに運行管理者との間でモバイルによる対面画像での健康管理の徹底を行っています。	
事業所内の対策	事業者内対策 1	
	⑪ 事業所内入口には、アルコール消毒液などを設置し、お客さまをお迎えする場合は、常に換気を行っています。	
	事業者内対策 2	
事業者内内の対策	⑫ 出入庫点呼時、社員の飛沫感染対策として、ビニールシートを設置し、運行管理者と乗務員間の適切な距離の確保します。	
	事業者内対策 3	
事業者内内の対策	⑬ 社員の出勤者を少なくし、マイカーや自転車通勤、出退勤については、通勤ラッシュの時間帯を外すなど感染予防に努めています。	
お客さまへのお願い	お客さまへのお願い 1	
	⑭ 座席に余裕のある場合は、できる限り座席間隔を空けてご利用ください。又、1列おきや窓側席のみ利用などご乗車される人数に応じてご利用ください。 ※飛沫感染防止の観点から運転席の後部座席（1番C D席）はお空けいただけますようお願いいたします。 ※定員上、後部座席に着席可能である場合には、可能な限り後部座席にお座りいただくようご協力をお願いいたします。 ※高速バスは座席指定となっております。	
	お客さまへのお願い 2	
お客さまへのお願い	⑮ コロナウイルス感染の影響がなくなるまでの期間、ご乗車中はお客さまもマスク着用をお願いいたします。又、車内における飲食は極力避けていただき、特に飲酒、大声による会話やカラオケは極力お控えいただけますようお願いいたします。 ※高速バス→カラオケ設備はございません。	
	お客さまへのお願い 3	
お客さまへのお願い	⑯ ごみは、エチケット袋に入れ固く口を縛っていただき、原則としてお持ち帰りください。乗務員・清掃員の感染拡大防止にご協力をお願いいたします。	

※弊社は、公益社団法人日本バス協会が策定する新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに応じた対策を進めていきます。